

日本道德教育方法学会第 23 回研究発表大会 プログラム

期日：平成29年6月10日（土）、11日（日）

会場：香川大学教育学部 〒760-8522 香川県高松市幸町1番1号

大会事務局：香川大学大学院教育学研究科（教職大学院）齋藤嘉則 研究室内

主催：日本道德教育方法学会

共催：香川大学教育学部

後援：香川県教育委員会、高松市教育委員会

大会参加費 1,000円・・・会員、非会員とも。当日、受付にて徴収します。

懇親会費 4,000円・・・懇親会は、会員、非会員を問わず参加できます。会員は参加申込用紙で、非会員は当日、受付にてお申し込みください。

【第1日】6月10日（土）

11:00 12:30 13:00 14:55 15:10 17:40 18:00 20:00

理事会 (312 講義室)	受 付	自由課題研究発表 分科会Ⅰ～分科会Ⅴ	シンポジウム (415 講義室)	懇親会 (生協ソラミ)
------------------	--------	-----------------------	---------------------	----------------

会員控室（413 講義室）

理事会 11時00分～13時00分（312 講義室）

受付 12時30分～（415 講義室前）

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分）

分科会Ⅰ（411 講義室） 司会：渡邊 満（広島文化学園大学）

13:00～13:55 ①「考え、議論する道德」授業の在り方に関する一考察

松下 恭平（上越教育大学大学院【院】）

14:00～14:55 ②「考える道德」「議論する道德」授業の実際

齋藤 嘉則（香川大学）

分科会Ⅱ（412 講義室） 司会：永田 繁雄（東京学芸大学）

13:00～13:55 ① 主人公の心の揺れに焦点を当てた役割演技の実践—小学校3年生での実践をもとに—

○原 洋子（岡山県玉野市立荘内小学校）

植田 和也（香川大学）

14:00～14:55 ② 到達目標を明確に定めた「特別の教科 道德」における指導過程の構想

水上 栄一（福岡教育大学大学院【院】）

分科会Ⅲ（421 講義室） 司会：田邊 重任（元 高知大学）

13:00～13:55 ①「規則の尊重」の道德授業の課題と可能性—「雨のバス停留所で」を例にして—

○鈴木 篤（大分大学）

山岸 賢一郎（長崎大学）

14:00～14:55 ②「自我関与中心の学習」を通して「考え、議論する道德」をつくる

○杉中 康平（四天王寺大学）

磯部 一雄（札幌市立平岡中央中学校）

分科会Ⅳ（422 講義室） 司会：小川 哲哉（茨城大学）

13:00～13:55 ①「道德」教育実践上の課題と迷い—アンケート調査と判例分析から—

中尾 豊喜（大阪キリスト教短期大学）

14:00～14:55 ② 道德に関連した社会的スキル実践についての自己認識（2）

—発達障害児・保護者・学級担任の認識の違い—

○山本 木ノ実（香川大学）

小方 朋子（香川大学）

分科会Ⅴ（423 講義室） 司会：上蘭 恒太郎（長崎総合科学大学）

13:00～13:55 ① 学校現場における道德教育の現状

朴 孝烈（大阪府泉大津市立誠風中学校）

14:00～14:55 ② 宗教的情操と道德的情操

東風 安生（北陸大学）

テーマ：道徳授業改善への組織的・現実的な取り組み

企画趣旨

小・中学校の教育現場においては、「特別の教科 道徳」の設置により、急速に道徳授業改善の機運が高まっている。たとえば、「考え、議論する道徳」や「アクティブ・ラーニング」といったキーワードをヒントとして、これまでの道徳授業のあり方を改善しようとする試みが全国で取り組まれている。もちろん、なかには「これからはきちんと授業をしよう」というレベルから出発する取り組みもあるが、それも含めて、こうした改善の取り組みをしなければならないという雰囲気が、全国の小・中学校に確実に充満しているといえるだろう。

こうした授業改善の課題は、教師個人に向けられているのと同時に、学校や教育行政、あるいは全国各地で展開されている道徳教育研究会など、組織的な側面からも追究される必要があるのではないだろうか。たとえば、教材分析や学習指導案検討の必要性を痛感しながらも、従来の学校での日常生活のなかでその時間をさらに捻出することは多くの教師にとってそうたやすい課題ではないのかもしれない。また、教師が教材解釈や指導案の工夫について理解を深めたいと希望するとき、どのような支援がその教師の周辺にあるのかということは、その教師の希望の充足を大きく左右することだろう。あるいは、これまで道徳授業改善の必要性を感じながらもそれを妨げていた要因について、冷静な分析も重要だろう。現実的には「精神論」ですべてが克服できない以上、道徳授業改善の動きを現実の改善へと確実につなげるためには、こうした組織的ないしは現実的な取り組みに関する議論も必要不可欠であろう。

そこで今回のシンポジウムでは、上記のような観点を踏まえて、道徳授業改善を妨げている現実的な問題や、それに対処する学校ないしは教師集団の取り組み、さらには教育行政や教職大学院によるサポート体制等も視野に入れて、道徳授業改善への取り組みについて検討したい。

◇シンポジスト

問題の所在と大学からのサポート : 七條 正典 (香川大学)
学校現場での取り組みと現実的な課題 : 坂井 親治 (元 愛媛県西条市立河北中学校)
学校現場での現実的な課題や取り組み : 矢作 信行 (桐蔭横浜大学【非】・
元 埼玉県川口市立前川小学校)
論点整理 : 谷田 増幸 (兵庫教育大学)

◇ 司会

谷田 増幸 (兵庫教育大学)
森 有希 (高知大学)

【第2日】6月11日（日）

8:30 9:00 10:55 11:05 11:55 12:00 12:55 13:00 15:00

受付	自由課題研究発表 分科会VI～分科会XI	会員総会 (415 講義室)	＜昼食＞ 評議員会 (312 講義室)	課題研究 (415 講義室)
----	-------------------------	-------------------	---------------------------	-------------------

会員控室（413 講義室）

受 付 8時30分～（415 講義室前）

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分）

分科会VI（411 講義室） 司会：白木 みどり（金沢工業大学）

9:00～ 9:55 ① 生徒による自己評価を活用した、生徒の真情に迫る記述式評価の運用システム
中山 芳明（京都市立藤森中学校）

10:00～10:55 ② 道徳科における長期的評価への示唆と課題
ーOPPAを位置づけた長期的ポートフォリオ評価とその活用ー
萩野 奈幹（兵庫県加古川市立平岡小学校）

分科会VII（412 講義室） 司会：林 泰成（上越教育大学）

9:00～ 9:55 ① 「知的な徳」の育成に関する一考察
ー学校教育活動全体を通じた道徳教育のひとつの可能性に向けてー
杉田 浩崇（愛媛大学）

分科会VIII（421 講義室） 司会：澤田 浩一（文部科学省／国立教育政策研究所）

9:00～ 9:55 ① アクティブ・ラーニングの視点を生かした道徳授業改善
ー1年間の指導と成長を振り返り、評価につなげるー
鈴木 賢一（愛知県愛西市立八開中学校）

10:00～10:55 ② 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して
～「特別の教科 道徳」における評価方法の研究～
松原 弘（大阪府和泉市立郷荘中学校）

分科会IX（422 講義室） 司会：金光 靖樹（大阪教育大学）

9:00～ 9:55 ① 自己の生き方を探求する道徳授業の創造～同一価値多時間単元構想～
谷口 雄一（兵庫教育大学大学院【院】）

10:00～10:55 ② 中心発問を重層的な発問にして、多様に、確実にねらい達成を
～子どもに合わせて、多様なねらい達成を～
柴田 八重子（愛知淑徳大学【非】）

分科会X（423 講義室） 司会：藤永 芳純（大阪教育大学【名誉】）

9:00～ 9:55 ① 好ましい人間関係を育む道徳教育の実践
～いじめ教材を活用した道徳授業の実践を中心に～
石井 久満（香川県小豆島町立池田小学校）

10:00～10:55 ② ことばによる感性教育技術の再開発（1）ーいじめ・暴言予防教育法の一開発ー
大庭 茂美（九州女子短期大学【名誉】）

分科会XI（教授法演習室） 司会：上地 完治（琉球大学）

9:00～ 9:55 ① 道徳教育推進教師を中心とした協働的な取組による教師の学び
～道徳科における指導と評価の在り方を巡って～
今川 美幸（兵庫県教育委員会）

10:00～10:55 ② 道徳教育研修の場づくり「かがわ道徳ラボ」の実践
ー教職大学院における県教委・教育センターとの連携・協働による取組ー

○植田 和也（香川大学）
齋藤 嘉則（香川大学）
七條 正典（香川大学）
山本 木ノ実（香川大学）

会員総会 11時05分～11時55分 (415 講義室)

評議員会 12時00分～12時55分 (312 講義室)

※ 第2日の昼食については、各自ご準備ください。

課題研究 13時00分～15時00分 (415 講義室)

テーマ：道徳科の特質を生かした教材活用と指導・評価の工夫

企画趣旨

平成27年3月に「特別の教科 道徳」が設置され、間もなく全面実施を迎える時期となっている。

新しい時代を切り拓く子どもたちの豊かな心を育む教科として、実効性を伴い充実した授業が展開されるよう、多様で効果的な指導方法に関する様々な提案やそれに関する活発な議論が展開されている。

道徳の指導方法の改善については、中教審の答申における改善の基本的な考え方として示された「多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善すること」に基づき、道徳科の特質を生かした指導を行う際の指導方法の工夫例として問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れることなどが示された。

その際、多様な方法を活用した授業の構想については、指導方法の工夫・改善が道徳科の目標に迫るためのものであるという原点に立ち、目標の深い理解とそれに迫るための具体的で説得力のある工夫・改善が求められる。

そこで本年度の課題研究においては、昨年度のテーマである「道徳科充実に向けた実践と評価の具体的展開」の研究成果を踏まえ、具体的な教材活用レベルにおいて「道徳科の特質を生かした指導や評価の在り方」を追究し道徳授業の質的充実を目指したい。

まずは、目標に掲げられている道徳的価値についての理解を基に、「自己をみつめる」ことの意味するものは何か、そして教材活用レベルでどう実現するのか、さらに、「多面的・多角的に考える」ことや「自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める」ことの意味とそれに迫る学習について具体的な提案を期待する。併せて、目標に対する深い理解と具体的にイメージした学習がどのように実現できたのかを見取るための評価の工夫を授業改善にどう結びつけばよいかなど指導と評価の一体化の視点で多くの知見を得たい。

以上のことから、次のように論点を整理した。実り多い議論が展開されることを期待する。

- 1 道徳的価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習の意味するものは何か、さらに教材活用レベルでどう実現すればよいか。
- 2 道徳科の目標に対する深い理解に基づき具体的にイメージした学習の実現をどのように見取ればよいか、授業改善に結びつく評価の在り方についてどのように工夫すればよいか。

◇ 登壇者

- | | |
|-----|----------------------|
| 提案1 | 柴原 弘志（京都産業大学） |
| 提案2 | 島 恒生（畿央大学） |
| 提案3 | 増田 千晴（愛知県江南市立古知野中学校） |
| 提案4 | 太田 晶子（岡山大学教育学部附属小学校） |
| まとめ | 田沼 茂紀（國學院大学） |

◇ コーディネーター

田邊 重任（元 高知大学）